

多施設共同による唾液腺導管癌の後方視的観察研究

(診療情報および採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ)

研究課題名：多施設共同による唾液腺導管癌の後方視的観察研究

研究の目的、方法（個人情報の利用の目的）：

唾液腺導管がん（Salivary duct carcinoma, SDC）は、唾液腺悪性腫瘍の中では著しく悪い予後が報告されており、新たな治療戦略の開発が望まれています。しかし、発生頻度が低く、臨床的特徴も十分に検討されておりません。そこで多施設で治療を行った唾液腺導管がん症例の臨床情報を集積し、病理組織学的特徴、免疫組織学的特徴（HER2、EGFR、アンドロゲン受容体タンパク過剰発現の有無）、分子生物学的特徴（HER2 遺伝子増幅の有無）を再検証し、SDC の特徴を調査研究しています。なお、診療時に採取された検体やデータを用いるため、新たに健康被害等発生することはありません。

研究対象：

研究対象は以下の施設において、耳下腺癌、顎下腺癌、舌下腺癌、その他の小唾液腺癌のために、主たる治療を行い、病理検査で唾液腺導管癌と診断された患者さんです。

使用する診療情報： 当院で治療を受けられた患者さんのカルテ記載情報

使用する検体： 当院において施行された生検、手術により採取・保管された検体

個人情報に関する配慮：

本研究では、匿名化（任意の識別番号を付与）された臨床情報データを集積します。お名前や住所など個人が特定される情報の集積はいたしません。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。個人情報の安全保護においても厳重に管理され実施されます。

利益相反：

本研究では研究代表者、研究事務局、免疫組織化学染色研究者、共同研究者に、開示の必要のある利益相反はありません。また、本研究が公正かつ円滑に遂行されるよう、適切に利益相反の管理を行います。

☆なお、以上の研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会において審査され、承認されています。

具体的な研究内容を知りたい場合には、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

今回の研究対象に該当する可能性のある患者さんあるいはご遺族のかたで、ご自身やご家族の臨床情報を本研究に使わないでほしいというご希望があれば、拒否することができます。その場合は、以下の連絡先までご相談ください。

お問い合わせ

新潟県立がんセンター新潟病院 頭頸部外科 田中 亮子

住所 〒951-8566 新潟県新潟市中央区川岸町 2-15-3

TEL 025-266-5111 / FAX 025-266-9385